

北向遺跡 (第3次)

遺跡番号	201-323
調査回数	第3次
所在地	山形県山形市大字青柳字吉本木地内
北緯・東経	38度18分1秒・140度21分56秒
調査委託者	村山総合支庁建設部道路課
起回事業	一般県道東山七浦線
調査面積	3,280㎡
託期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
現地調査	令和4年5月18日～10月28日
調査担当者	天本昌希(現場責任者)・齊藤主税
調査協力	山形市企画調整部文化振興課・一本木土地改良区
遺跡種別	集落跡
時代	奈良時代、平安時代、中世
遺構	掘立柱建物・鍛冶炉・火葬墓・土坑・柱穴・河川跡
遺物	須恵器・土師器・金属製品 (文化財認定箱数：16箱)



遺跡位置図 (S = 1:50,000)

調査の概要

北向遺跡は山形市の北東部の楯山地区に位置する古代の集落遺跡である。本遺跡範囲を横断する県道東山七浦線の建設に伴い、当センターが既に2回の調査を実施しており、今回で3回目の調査となる。また、この道路に接続する市道部分を山形市教育委員会が調査しているため、遺跡全体では4回目の調査となる。これまでの調査では、奈良・平安時代を中心に74棟の竪穴建物が検出されている。

今回の調査区は、センター第2次調査の南西側に隣接した3,280㎡を対象に実施した。調査区の大部分は幅広の旧河川上にあったと考えられ、前回までの調査のように竪穴建物が密集する状況ではなかった。

旧河川は調査区よりも幅広く、土色変化が乏しいため、その範囲の特定が困難である。扇状地下位に立地し、遺構確認面で礫層が水平ではなく、波打つように検出されることも遺構検出を困難にさせている。河川覆土には全体的に土器片が含まれているが、場所によって疎密があり、一部には完形個体を含め、集中して出土する地点を確認した。これは河川の蛇行地点などの淀みに遺物が溜まったものと解釈している。集中出土地点の遺物に見られる摩耗痕は大きくはないため、遠くから運ばれたものではなく、近場に生活域があったと推測される。

出土遺物は8世紀中葉から9世紀後半のものであり、これまでの調査結果と同じ範疇に収まる。同一の集落からの流れ込みと判断できよう。ただし、河川覆土からの出土状況は、新旧入り交じっており、堆積層位に年代差を反映することはできない。

下層の遺構の確認のため、数か所に深掘りを入れていく。一部では礫層の下に黒色粘土層を検出したものの、

いずれからも遺構や遺物はみとめられなかった。この下層の粘土層には有機物が多数遺存しており、得られた木質試料を炭素年代測定にかけたところ、調査区中央部のもので6～7世紀（基本土層E）、東側で5～6世紀（基本土層D）という結果を得ている。この上位で出土している古代の遺物は、新しいもので9世紀後半代のものであり、よって下層の粘土層と上層での遺物出土層を埋める礫層は5～9世紀後半の堆積と解釈できる。

遺構は調査区中央から西側に偏って分布している。これは9世紀以後河川が埋没し、陸地化した場所を利用したものと解釈できよう。ここからは鍛冶遺構と判断される鉄滓の出土した被熱土坑SL2や、火葬墓と考えられる骨片と焼土を含む土坑SL83などが見られる。これらの遺構や、その他の土坑、柱穴から得た木質試料の炭素年代を測定したところ、概ね13～14世紀に収まる結果が出ている。この時期に至るまで調査区域は、ほぼ全域河川中にあつたと推測できよう。

調査区の西側では幅広の礫層帯が現地表付近まで傾斜して見られる。この礫層帯のさらに西側は、旧河川から外れていたと思われ、土質がやや異なり、遺構確認面中

に縄文晩期や古墳時代のものが散見されるようになる。調査区の西端ではSB87掘立柱建物を検出した。2間3間になるかと想定される規模のもので、調査区外へ延びるものの、他のピット群との重複もなく、良好な検出状況を得ている。近隣に廃棄土坑SK85があり、SB87に関連するものと考えている。出土遺物からすると9世紀初頭のものである。

まとめ

北向遺跡第3次調査では、調査区に沿うように旧河川が走っており、従来の調査のように竪穴建物が多数重複する状況ではなかった。とはいえ河川からの土器の大量出土は、近隣に濃密な生活空間の存在を示唆するものである。これまでの調査をふまえると、集落の中心は遺跡範囲の北東側に展開していることが予想され、今回の調査は集落の縁辺の様相を示すものといえよう。

旧河川の埋没については、出土資料と炭素年代測定値から詳細な過程を追うことが可能である。今回の調査では河川下位での遺物出土を確認できなかったものの、近隣には下層の炭素年代と同時期の古墳の存在も知られており、慎重な対応が求められる。



写真1 調査区全景空撮



写真2 遺構検出風景



写真3 旧河川遺物集中地点出土状況



写真4 旧河川底面検出状況



写真5 旧河川底面遺物出土状況



写真6 SL2 鍛冶炉調査状況



写真7 SL83 火葬墓断面



写真8 SB87 掘立柱建物跡検出状況



写真9 SK85 土坑遺物出土状況

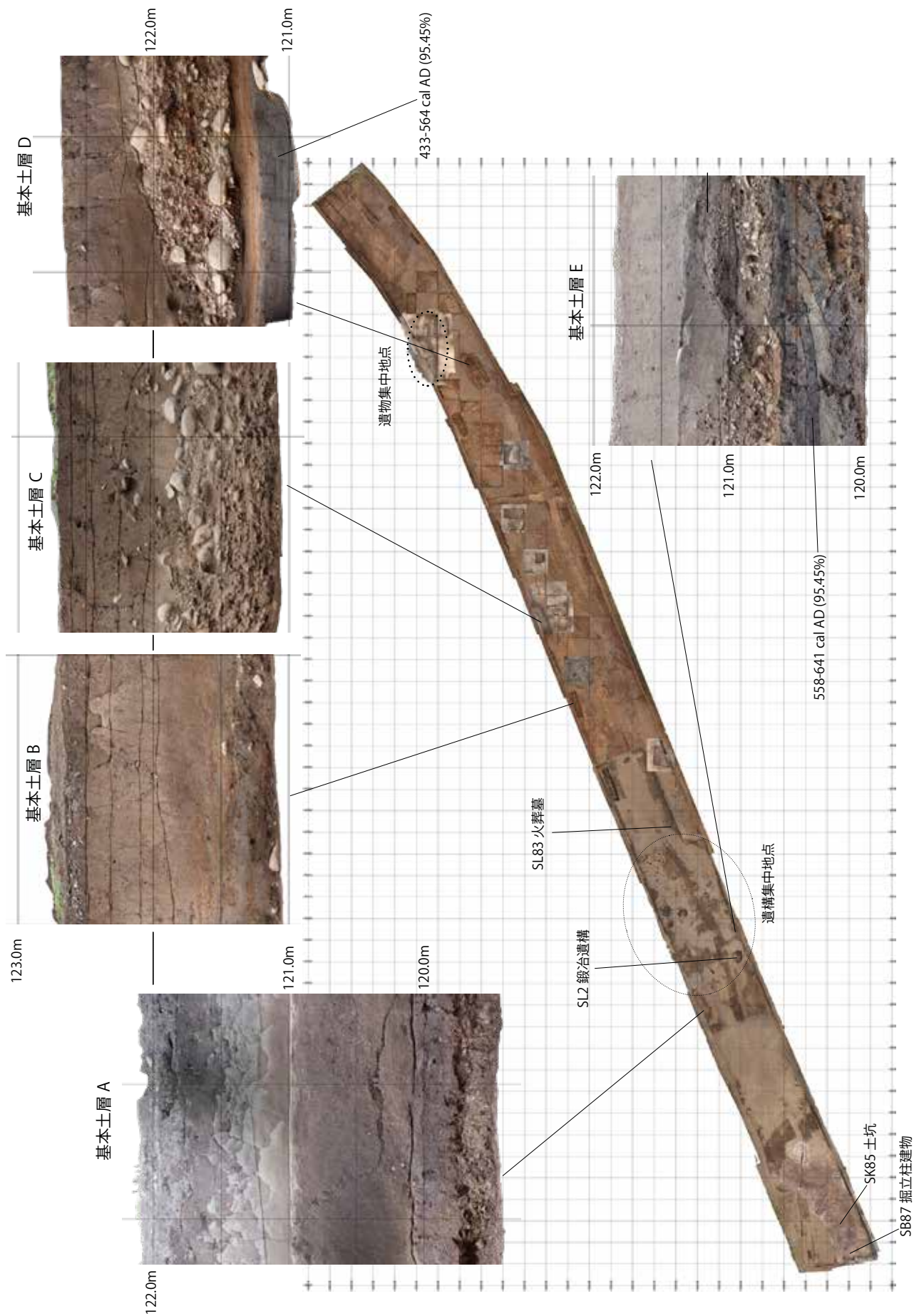


写真 10 北向遺跡第 3 次の調査区全体オルソ合成図 (S=1/1000)、基本土層 (S=1/40)